

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	自立訓練事業所 放課後ハウスTERAKOYA		
○保護者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	令和7年 11月 1日		～ 令和7年 11月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 12月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援や生活スキルの向上を目指すプログラムなど充実した活動支援プログラムの構築が出来ている。	プログラムの内容を柔軟に見直すことで、常に最適な支援を提供出来る様に心掛けている。	同じ内容の活動であっても、個々に応じた難易度の参加方法を考え、提供していく。
2	活動については、季節や行事に合わせて児童が楽しみながら様々な体験ができるプログラムを準備している。	長期休み期間中は、外出の予定を立てて施設の外での体験ができるようにしている。	なるべく新しい経験ができるよう、引き続きこれまでやったことのない活動も積極的に取り入れていきたい。
3	保護者からのニーズや、要望に対して柔軟に対応し、子どもに情報共有などを図れている。	送迎時や電話、LINEなどを通じて、子供の現状と保護者の思いを共有するように心掛けている。	職員間での情報共有を図り、保護者のニーズを把握する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方や他施設との交流の機会が少ない。	事業所として、他の事業所や地域の子供達との接点が作れていない。	他事業所のイベントに積極的に参加し、他事業所の子供たちとの接点を作っていく。
2	保護者への周知不足	各種マニュアルや法人で実施している訓練や研修についての周知が弱い。	周知徹底に力を入れ、様々なツールを利用しながら保護者の理解を深めていきたい。
3	保護者同士の関わりが少ない。	保護者やご兄弟が参加できるイベントが少なく、顔を合わせる機会がない。	保護者参観を開催したり、親子参加型のイベントを企画し、保護者同士の関わりが持てる場所作りを行う。